

第 20 回ミナミ活性化協議会代表者会議結果

1 日時

令和 7 年 2 月 3 日（月）午後 2 時から午後 4 時までの間

2 場所

大阪府中央区難波 4 丁目 3 番 3 号

ホテルロイヤルクラシック大阪 3 階「麗・壽」

3 出席者（敬称略）

役 職	氏 名
大阪府副知事	森岡 武一
大阪市長	横山 英幸
大阪府警察本部長	岩下 剛
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長	岡本 敏嗣
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人	福長 徳治
大阪商工会議所会頭	鳥井 信吾
関西経済同友会代表幹事	宮部 義幸

4 意見交換

○ ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長

このミナミ活性化協議会代表者会議は、平成 17 年の第 1 回目の会議開催以来、今回で 20 回目となります。

今年度も無事に開催されたことに対し、関係者の皆様方には心より感謝申し上げます。

当協議会設立以来、行政、警察、関係機関、団体、地元が連携しながら様々な取組を行い、その結果、平成 22 年には「建築物の用途を制限した宗右衛門地区計画条例の制定」、「宗右衛門通りの無電柱化、石畳化」、平成 25 年には「心斎橋筋商店街における景観協定」、平成 28 年には「戎橋筋商店街における建築協定の締結」を行うなど、ミナミのブランド力向上と賑わいある健全な街づくりに向け取り組んでまいりました。

また、この程、なんさん南北通りにおかれましても、道路空間再編を機に建築協定を締結されました。

今後、ますますミナミの街を活性化するために、本日、私からは、ミナミ歓楽

街環境浄化推進協議会を代表しまして、「安全安心で快適なまち」「魅力とにぎわいのあふれるまちの実現」に向けての2つの観点から、現状の説明と要望を行いたいと思います。

はじめに、客引き問題については、平成17年の当協議会設立当時と比べ、客引き行為者は減少し、一定程度改善されてきていると感じているほか、違法風俗店等の摘発、暴力団等の犯罪組織の取締り、「グリ下」における少年補導活動など大阪府警全体でミナミの治安維持と環境浄化に取り組んでいただきまして、大変心強く感じており、深く感謝申し上げます。

大阪市におかれましては、平成26年に全国初となる客引き適正化条例を制定されて以降、客引き適正化指導員による巡回、指導及び店舗への立入調査を行っていただき、令和3年には条例を改正して、常習的な違反者に対する過料処分までのサイクルを短くするなど、客引きの適正化を図っていただいております。

また、今年度からは、業務委託による繁華街対策員を、客引きの多い場所に配置していただき、対策を強化していただきました。

客引き防止の啓発においては、大阪府下の大学で構成される会議に参加して啓発活動、客引き防止の動画制作やデジタルサイネージを活用した広報活動などをしていただき、これも感謝しております。

今年は大阪・関西万博が開催されますので、大阪は日本の玄関口として、多くの方々が訪れることとなり、ますます国際都市としての役割が求められます。

ミナミを訪れる方々に、安心してミナミの街を楽しんでいただけるよう、引き続き、悪質な客引き行為者の排除に向けて、指導員や対策員を効果的に運用して取締りを強化していただきたいと切に願っております。

地元といたしましては、警察、行政と連携を図りながら、夜間パトロールの実施違法風俗店や悪質店舗の排除など、まち全体として、違法な客引き等を許さない気運醸成に取り組んでまいりますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

次に、放置自転車やはみ出し看板など、歩行者の安全、安心な通行環境の確保につきましては、大阪府警・大阪市には地元の活動に合わせたはみ出し看板、はみ出し営業の是正指導などを精力的に進めていただき、厚く感謝申し上げます。

放置自転車対策につきましては、現在、官民連携による自転車ワーキングによる放置の実態調査や他都市事例の研究に加え、取組内容に関する報道発表や啓発イベントの実施など、様々な取組を進めております。

その中で建設局におかれましては、一昨年より開始したリアルタイム撤去を継続強化していただく中で、市民の間にも変化がうかがえたことから、今年度は「アルケル・イケル」というフレーズで徒歩への行動変容を促すキャンペーンを展開していただいております。

地元としても、ミナミで働く方やお店を利用される方などに対して駐輪マナーなどの啓発を強化していますが、大量の放置自転車は、回遊性や景観を損なうばかりか、緊急車両の進入を妨げるなど、国際観光エリアとして由々しき状況と懸念しています。

特に課題となっていた夜間の撤去に向けて、大阪市が民間委託へと新たな取組にチャレンジしていただくことには感謝しており、本年4月からの実施を心待ちにしております。

今後も、地元との緊密な意見交換や情報交換を通じて官民の知恵と対策の強化により現状の打破に取り組んでいけるよう、よろしく願いいたします。

次に、魅力と賑わいの溢れるまちについてですが、訪日外国人旅行者は、昨年12月に単月で過去最高を記録しました。

今後、2025年に開催される大阪・関西万博やIR誘致により、ミナミの街にはますます多くの観光客が訪れることが見込まれています。

そういった観点からも、「なんば駅前の広場化」は、世界を惹きつける観光拠点を形成するものとして、ミナミだけでなく、大阪、関西の活性化のためにも重要な取組であると考えています。

一昨年11月に広場部が先行オープンし、いよいよ今年3月にはなんさん南北通りを含めた全体完成が予定されています。

先行オープンされた広場部では上質な憩いの空間がまさに実現され、大阪市となんば広場マネジメント法人設立準備委員会が連携し維持管理並びに利活用の運用の試みが進められています。

引き続き、なんさん通りでの安全かつ円滑な工事の進捗をお願いするとともに広場において、この程適用された歩行者利便増進道路制度により、民間活用や広告利用も含めた持続的かつ効果的な運営に必要な実験が官民連携で展開されることと期待されます。

引き続き、大阪府・大阪市・大阪府警をはじめ、ここにお集まりの皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

御堂筋につきましては、千日前通りから道頓堀川までの側道歩行者空間化の整備は終了しまして、現在は、長堀通区間の整備をさせていただいております。

整備にあたっては、地元と関係機関が協議を重ね積極的な提案を行うとともに昨年は「御堂筋チャレンジ2024」など空間活用の実験を積み重ねておられます。

さらに、この空間再編を機に地元では環境改善と活性化の一体を図る取組が進んでいます。

例えば、御堂筋と東西の商店街の連携や宗右衛門町においては歩行者空間化の推進、更にデータを駆使して回遊を消費につなげていくなどの実践的な研究も始まっています。

万博に向けて、御堂筋をサテライト会場と見立て、世界に発信する事業も企画されていると伺っており、世界水準のメインストリート御堂筋として一層の活用と発信を図っていく上で、万博後のレガシーとなるような制度や運用面での工夫をお願いいたします。

また、完成以来20年目となる「とんぼりリバーウォーク」は、官民一体となった取組や管理運営を委託されている南海電鉄様の努力もあり、多くの観光客で賑わっていますが、秩序ある空間、高質な景観・環境を保っていくことが、観光ニーズの高度化への対応になるに違いありません。

なんさん通りから道頓堀川まで世界有数の人中心の公共空間が、大阪・関西万博が開催される2025年春にいよいよ完成します。

ミナミに構築された、歩きやすく安全で楽しい憩いの空間を官民で連携して活かし、「風情あるミナミのまち」へと人々の回遊、滞在が生まれることが、大阪全体の集客につながります。

その実現のためには、地元の熱意だけでは困難であり、行政、各関係機関のお力添えが必要です。

一方、観光化が進む中で様々な課題もみられます。

行政におかれましては、地元とビジョンを共有し、より一層リーダーシップを発揮していただき、事業化に向けての予算化や運用面など、前例に捕らわれないスピード感のある思い切ったご対応をお願いしたいと思っております。

最後になりましたが、今後とも行政、警察、経済界、賛同団体の皆様からのご支援、ご協力をいただきながら、ミナミの更なる活性化に向けて活動を推進してまいりますので、何卒よろしくごお願い申し上げます。

○ 大阪府副知事

まずは、ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会の岡本会長、福長発起人をはじめ、ミナミ活性化協議会にご参画の皆様方におかれましては、日ごろからミナミの街づくり、魅力創出、安全、安心なまちづくりにご尽力いただいていることに、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

いよいよこの4月、大阪・関西万博が開幕します。

2018年の開催決定以降、大阪府・大阪市一体で、国や博覧会協会、経済界等と連携し、この国家プロジェクトの準備に全力を尽くしてまいりました。

万博では、「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマの下、最新技術や未来社会の先取り、多様な文化・価値観に触れられるパビリオンが建ち並びます。

大阪府では「大阪ヘルスケアパビリオン」や「大阪ウィーク」を通じて大阪の魅力の世界に発信してまいります。

また、万博開催期間中には、約2,800万人の方々国内外から大阪に来られると想定されており、大阪といえばミナミをイメージする方も多く、おいしい食事

や買い物等様々なミナミにしかない体験を楽しみに、多くの方々が訪れます。

一方で、良くも悪くもミナミのまちを訪れる多くの方々が体感した治安情勢がそのまま大阪全体のイメージとして伝わることとなります。

地元の皆様には、地域の活性化や、魅力の創出に加え、安全確保のため、夜間のパトロール、放置自転車対策、悪質な客引き対策などを継続して実施していただいております、非常に感謝しております。

また、大阪府警察におかれましては、悪質なホストクラブに対する客引き取締りなど積極的に取り組んでいただいております、大変心強い限りでございます。

引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

大阪府としましても、青色防犯パトロール車両を活用した客引き対策、置引き被害防止などの広報啓発活動のほか、大阪府青少年健全育成条例に基づいた、カラオケボックスなどの夜間営業施設への立入調査を実施しております。

青少年にとって優良な社会環境を作っていくことで、少年による犯罪行為への加担、また、加害者にも被害者にもならないということを追求め、ミナミの風俗環境の浄化を図ってまいります。

今後とも、皆様と一緒に「ええまちミナミ」の実現に向けて取り組むとともに万博のインパクトを最大限に活かした大阪を魅力と賑わいが溢れる、安全、安心な都市として世界に発信してまいります。

引き続き、皆様方のご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

○ 大阪市長

平素は市政各般にわたり本当にたくさんのお力添えをもらっておりますこと、御礼申し上げます。

本日は、ミナミ活性化協議会代表者会議ということで、皆様お集まりのもと、ミナミの未来について協議をしていくという非常に重要な機会でございます。

先ほどから、皆様のご挨拶でもありました通り、昨年のインバウンドを見ますと、過去最高 1460 万人の方がお越しいただいております。

元々、今年は、1500 万人という目標を観光局が立てていたんですが、上方修正を考えざるを得ないほど多く、おそらく今年もたくさんのインバウンドの皆さんが大阪にお越しいただく可能性が非常に高まっております。

こうした中で、やはり玄関口としても大阪といえばミナミのまちということでその時見ても、本当にたくさんの方が楽しんでおられる一方で、当然課題もたくさん出てくると思いますので、様々な課題につきまして地元の皆様、そして経済界の皆様、行政、警察の代表者が一堂に会して協議をしていく場でございます。

しっかり皆さんと意見交換しながらミナミのまちづくり、未来に向けてしっかり進めていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

私から4点ご説明させていただきますが、客引き行為の対策、2点目が魅力と

賑わいの創出、3点目が御堂筋の活性化、そして4点目の放置自転車対策ということでご説明させていただきます。

まず、客引き行為等の適正化対策について、大阪市の取り組み状況でございますが、2014年の市条例の施行以降、2017年からはミナミ地区を集中的に巡回指導する指導員の増員、条例改正による店舗や法人への対策強化を行い、2021年4月からは常習違反者に対して、より短いサイクルで過料処分ができるように、条例の一部を改正しています。

様々な取組を通じて、客引き行為者については、条例施行前から一定数減少してきてはいますが、まだまだ楽観できない状況です。

これまで悪質な客引き行為者が多い場所への指導員の集中配置や、各店舗に対して従業員に客引き行為を行わせない、客引きを生業とする業者から客を受け取らない、などの指導を行ってきました。

また、今年度から業務委託による繁華街対策事業を新たに開始して、客引き行為者が特に多い場所に繁華街対策員を配置して、客引き行為者に対する口頭注意や来訪者に対する広報啓発活動を行っております。

今後も客引き行為の実態に即して巡回指導の運用を見直すなど、本市の客引き対策がより効果的なものとなるよう検討を重ねてまいります。

また、大阪府警察の皆様と協働して、客引き防止啓発動画や悪質なホストによる被害防止啓発動画を制作しました。

客引き行為の適正化に向けては、客引き行為への指導だけでなく、ミナミ全体として客引き行為が禁止されているという機運の盛り上げ、環境作りを進めることも重要であると考えています。

そこで、地元の皆様のご協力をいただき、商店街での客引き防止アナウンスの放送や、啓発ポスター掲示などの啓発活動を継続して行ってきました。

さらには、客引き防止啓発動画などもデジタルサイネージで放映いただいています。

今後も来訪者の皆様に、客引きが禁止されていることを知っていただけるようあらゆる機会を通じて幅広く広報してまいります。

悪質な客引き行為は絶対に許さないという強い決意のもとで、皆様方とともに取り組んでまいりますので、より一層のご支援ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、魅力と賑わいのあふれるまちの実現について、まず、訪日外国人旅行者数につきましては、昨年12月の一ヶ月で過去最高を記録するなど、ミナミはインバウンドの活気で溢れています。

なんば駅前の広場化についても、先ほど会長からもありましたが、なんば駅前を含むミナミエリアは、大阪エリアの玄関口でもありまして、ミナミの活性化が

大阪、ひいては関西の活性化に繋がるものと認識しています。

この間、地域の皆様と大阪市で連携して、世界を引きつける観光拠点として、歩行者にとって安全で上質かつ居心地の良い空間の創出を図るなんば駅前の広場化に向けた取組を進めてまいりました。

一昨年(2017)年の11月に先行オープンしたなんば広場では、社会実験として、地域の組織と行政が連携してイベントを開催し、賑わいの創出にも寄与してきました。

また、この広場部分においては、昨年(2017)年の12月に、この社会実験の成果として、より柔軟に民間の取組ができる通称「ほこみち制度」の区域指定を行いました。

今年(2018)年の3月には、いよいよなんさん通りを含む全体の完成となります。

なんば広場は、大阪の新しい顔であり、ここで生まれた賑わいを、ミナミの更なる活性化に繋げていきたいと考えております。

そのためには、より一層の賑わいを生み出しながら、安心安全で居心地の良い空間を持続的に維持管理していくことは不可欠となりますので、地域の皆様方におかれましては、引き続き、ご支援、ご協力よろしくお願い申し上げます。

次に、御堂筋の活性化については、大阪市では2019年に「御堂筋将来ビジョン」を策定して、将来ビジョンの実現に向けたファーストステップとして、御堂筋の側道歩行者空間の整備を行っています。

今年度末までに長堀通りから難波西口交差点区間の整備が完了する予定となっており、万博開催時には国内外多くの方々に、広がった歩道を歩いていただける予定です。

また、広がった歩行者空間においては、国の制度を活用しつつ、新たな利活用に向けた社会実験などに取り組んでおり、具体的な活用方法や、その仕組みなどについて、引き続き、こちらも地域の皆様方と意見交換するなど、まちの活性化価値を高める取組に向けまして、皆様と連携して進めてまいります。

次に、放置自転車対策については、放置自転車やはみ出し看板、はみだし営業等、歩行者の安全安心な通行環境の確保につきまして、万博を契機にミナミにも多くの方がお越しになる見込みですので非常に重要な課題と認識しています。

はみ出し看板等については、地域の夜間パトロールに合わせて、是正指導を実施しており、特に、はみ出し営業店舗に対しては、警察の皆様と連携した指導強化に取り組んでいます。

放置自転車については、官民連携による自転車ワーキングでの議論を踏まえて撤去強化や啓発活動に取り組むとともに、警告後すぐに撤去作業に着手するリアルタイム撤去を継続実施したところ、作業の効率化による撤去台数の増加だけではなく、放置台数そのものの減少へと繋がってきたと思います。

また、本年4月からは民間委託による夜間撤去を予定しており、平日だけではなく、休日を含めた夜間帯の撤去を推進してまいります。

しかしながら、ミナミには地域で働く従業員の皆様やお店を利用される方の自転車も多く、道路を適正に利用して安全安心なまちづくりを進めようという機運を高めていくためには、地域の皆様のご協力が必要不可欠です。

今後とも、快適な道路空間の創出に向けて、私自身も強くメッセージを発信していきたいと思っておりますので、地域の皆様方も引き続き、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

こういった取組を通じまして、官民の連携を一層強め、なんば広場から御堂筋さらに道頓堀川の水辺空間まで回遊できる、連続した人中心の魅力ある空間を生み出すことが、ミナミエリアの魅力の向上や賑わいの創出に大いに寄与するものと考えております。

最後になりますが、本年4月にはいよいよ万博も開催されます。

皆様方から大変ご心配のお声をいただきながら何とかお力をいただいて、4月に万全の状態で開催を迎えることができます。

一方でチケットが買いつらいといったお声も頂戴しており、しっかり改善しながら、大大阪の出発と言いますか、今一度大阪が日本、アジア、世界の中でも誇るべき都市であるために、都市格を上げていきたいという思いで、関係者一同全力で取り組んでおります。

万博、そしてその先の大阪に向けまして、全力で取り組んでまいります。

そのためにも、ミナミエリアの活性化というのは非常に重要でございます。

お願いばかりで恐縮ではございますが、何卒、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

○ 大阪府警察本部長

本日、御臨席の皆様方におかれましては、平素より警察行政の各般にわたりまして、深いご理解と温かいご支援を賜っておりますこと、まずもって、この場をお借りいたしまして、心より感謝を申し上げます。

大阪府警察につきましては、誰もが安心して楽しめるミナミの実現に向けまして、客引き、あるいは無許可営業といった風俗事犯対策、暴力団あるいは闇バイトも含まれる緩やかな結びつきである匿名流動型犯罪グループといった組織犯罪への対策、飲酒運転などの交通対策、これを柱として、歓楽街の治安の改善に向けた諸対策を推進しているところでございます。

その結果、南警察署管内におきます、刑法犯の認知件数は、昨年の数字を見ますと、約20年前、この協議会が発足された平成17年と比較して約半数となっております。

これは、警察の取組はもとより、皆様方の様々な活動や情熱といったものの賜物ではないかと考えております。

こうした、ミナミが健全で魅力あふれる街であり続けるためには、街の活性化と治安の向上の両立が重要でありまして、大阪府警察としましては、引き続き、ミナミ地区の環境浄化に向けて、努めてまいりたいと考えております。

それでは、先ほど申しあげましたような各種対策につきまして、現在の状況についてご説明を申し上げたいと思います。

まず風俗事犯対策ですが、客引きの取締りについては、南警察署のみならず、他の警察署の捜査員を動員して大勢の捜査員からなる集中取締りを実施するなどして、昨年は、49人を検挙したところであります。

前年比プラス2人ということですが、

また、違法風俗店の取締りについては、法令で営業が禁止されている区域、所謂マンション内で性的サービスを行っていたメンズエステ店を検挙した他、無許可で接待飲食店を営業していたメンズコンセプトカフェ等を摘発しております。

また、近年問題となっている、悪質ホストクラブ対策を推進した結果、未払い金を回収するため、女性客から金を脅し取るなどしていたホストクラブの経営者或いは女性客を性風俗店等に紹介したホストなどを検挙しているところでございます。

この他、ホストクラブをはじめとした風俗営業店に対する立入りを強化しているところでありますし、法令違反が認められた店舗に対しては、行政処分を課している他、昨年10月23日ではありますが、ホストクラブ営業者等を対象として、労働局あるいは大阪市等と合同説明会を実施し、参加したホストクラブに対して、しっかりと教育をさせていただいたところであります。

次に、暴力団などの組織犯罪対策についてですが、平成27年から続く山口組分裂抗争に関して、六代目山口組と神戸山口組に対しては20回目、六代目山口組と絆會に対しては2回目となる特定抗争指定暴力団等としての指定を延長したところですが、引き続き、大阪市を警戒区域に設定しまして、各団体活動を大幅に制限するなど対策を講じているところであります。

こうした取組と併せて、敵対する暴力団事務所付近をうろついていた暴力団員を、暴力団対策法のうろつき違反として検挙した他、客引きグループ同士のトラブルで、用心棒行為をした暴力団員等を、昨年7月に改正していただきました大阪府暴力団排除条例を適用して検挙するなど、暴力団の利権に絡む事件を多数検挙しているところであります。

ミナミ地区にあります絆會の事務所の現状については、民間との売買が成立しておりますが、暴力団事務所としての実態、その機能が完全に失われたかどうかについては、しっかりと見ていきたいと思っております。

外国人犯罪については、心齋橋の宝飾店において発生した強盗殺人事件を検挙

した他、スナックの客を泥酔させてクレジットカードを不正使用した昏睡強盗事件の検挙や、不法残留等の外国人を多数検挙しております。

また、不法就労、不法滞在の防止に向けては、なんばウォークにおいて、大阪出入国在留管理局等と合同で街頭キャンペーンを実施するなど、広報啓発活動にも力を入れさせていただいているところでございます。

次に交通対策ですが、昨年11月1日に、自転車運転中のながらスマホや酒気帯び運転の罰則強化などを内容とする改正道路交通法が施行されたことから、酒類を提供する飲食店等にもご協力をいただき、自転車の利用者に対する改正法の周知を行いました。

また、歓楽街を包囲する形で、定期的に飲酒検問を実施するとともに、歓楽街での走行が多い特定小型原動機付自転車等の電動モビリティについても、交通ルールを無視した違法走行が多いということで、悪質危険運転者に対する取締りを強化しているところであります。

次に、戎橋周辺、通称グリ下に集まる少年たちへの対応です。

こうした少年たちには声かけするなどして補導、保護を進めております。

また、美人局といった手口による強盗傷人事件で少年が被疑者となる事件もありますし、少女に対する不同意性交事件など少年少女が被害者となる事件もあります。

こうした事件の摘発、取締りを集中して実施しているところです。

引き続き、関係機関と連携を強化していただき、少年少女が被疑者あるいは犯罪に巻き込まれないように各種取組を推進してまいります。

こうしたミナミの情勢につきましては、治安情勢あるいは風俗環境について、一定の改善が見られるものの、刑法犯認知件数は、他の地区も同様に令和4年増加傾向にありまして予断を許さないということでもあります。

全国的に見ますと、引き続き下がっているということではありませんが、減少傾向にあるところ、大阪では令和4年から増加傾向というのは顕著であると認識しているところです。

また、匿名流動型犯罪グループについては、歓楽街における風俗営業には、かなり関係していると思っておりますし、その収益を彼らのみならず、暴力団にも少なからず渡っているのでは、という風にも考えている次第です。

このような情勢を踏まえて、引き続き各種取組を推進して、更なるミナミの治安の改善或いは風俗環境の浄化を目指していきたいと考えています。

最後になりますが、今年4月には大阪・関西万博が開催されます。

大阪・関西万博自体の安全安心については、これを担う博覧会協会等と連携して、必要な役割を果たしていきたいと考えております。

この機会に大阪を訪れる国内外の観光客、そういった方々がミナミの街を訪れると想定されますので、我々といたしましては、万博自体の安全安心と同じくらい府下の安全安心が大事になってくると考えております。

万博対策が騒がれる中になりますが、しっかりと大阪府の皆様方に存在を認知していただけますよう進めてまいりますので、引き続きのご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 大阪商工会議所会頭

皆様から、これまでの取り組み成果と課題をお伺いしまして、今のミナミの賑わいは一朝一夕に出来たものではないということを改めて認識いたしました。

岡本会長、福永発起人をはじめ、地元の皆様方の地道な取り組み、そして森岡副知事、横山市長、岩下府警本部長をはじめとする関係者の皆様のご支援に心から感謝申し上げます。

大阪商工会議所では、2018年からグレーターミナミ計画というプロジェクトに取り組んでおります。

これは、大阪の街の南北軸のうち、南に着目し、都心から南河内・泉州までをグレーターミナミとして文化、産業までトータルに考え打ち出してはどうかという試みです。

2023年よりグレーターミナミ委員会を大阪商工会議所内に設置しています。

この取り組みの背景には、大阪の南はダウントレンドな状況が続いてきたという現状認識があります。

インバウンドが南の方を素通りしているという現状ですが、南には富田林市の寺内町、古くから続く格子造り、河内ワイン、国宝に指定された金剛寺、岸和田の地車、仁徳天皇陵の古墳等の文化とたくさんの観光資源がございます。

さらに、関西空港、泉州ツーリズムビューロー、阪南大学、近畿大学、大阪公立大学等の大学、行政等々と連携していきたいというテーマが挙がっております。

私は大阪ミナミ、グレーターミナミともにより深く知ること、知らしめるということが重要だと思っておりますし、さらに都心のミナミに関しては、もっと我々が知る必要があり、知らしめる必要があると思っております。

続いて、大阪都心のまちづくり活動勉強会という会がございます。

メンバーは企業名を挙げて恐縮ですが、大阪ガス、関西電力、京阪、南海、阪急、JR西日本、近鉄の各電鉄会社や大阪メトロ、三井不動産、大林組、竹中工務店、そして大阪商工会議所、関西経済連合会、関西経済同友会の経済団体、オブザーバーは大阪府、大阪市、大阪観光局ということで、昨年10月に共同レポート「P・A・R・Kな大阪都心」という提言を取りまとめました。

先ほど大阪市の紹介にもございましたので、重複いたしますけれども、その内容を申し上げますと、ミナミにはなんば広場をはじめ、側道が歩道化されつつある御堂筋など、万博に向けて整備が進む大小織り交ぜた公共空間がたくさんあり、この公共空間を日常的にまちづくりや地域のために有効に使っていく仕組み、エリアマネジメントという考え方を導入してはどうかということでございます。

提案のポイントを二つ申し上げます。

まず、ビルやマンションなどの公開空地を利用して、まちづくりや賑わいの創出に地域の団体が取り組めるような新たな仕組みを作ってはどうかという提案でございます。

もちろん公共の空間ですので、公共の利益に反さないというような様々な注意が必要ですし、エリアマネジメントをやる場合は、公益的である必要があるということも、もちろん前提でございます。

これが第1でございます。

第2は、公共空間での広告に関してでございます。

広告収入をエリアマネジメント団体の活動の財源に充当するという制度の提案でございます。

屋外広告ですので、もちろん美観の問題がございます。

この問題をクリアしないといけませんので、大阪市や大阪府警本部のご指導をいただくことになると思います。

こうした空間、公共空間もそれぞれの地域を最もよく知っている地域の人々の創意工夫で、日常的に有効利用することができるならば、大阪の街は地域に根ざした大阪文化を新しく作ることができるのではないかと考えております。

例えばですが、大阪商工会議所が、なんば広場で、国内外のスタートアップ、ベンチャー企業のサポート企業を集めまして、その最新鋭の技術革新にあるイノベーション、ものづくり、テクノロジーといった展示会を行おうとしています。

展示会は、普通であれば大きなビルの会場や室内で行いますが、今回のスタートアップの展示会は屋外の街角でやってみようという試みでございます。

次に、急増する観光客の受け入れ体制でございます。

大阪の街は、安心安全に滞在できる環境を一層整える必要がございます。

商店街等インバウンドが集中する地域では、地元、地域による自主的な美化の取り組みだけでは限界だという声が聞かれております。

折しも2025年度から宿泊税が拡充をされます。

これを活用し、トイレの整備であるとか、ゴミ箱の設置や処理、清掃などの観光を支えるいわゆる静脈部分について、大阪府、大阪市連携により事業の予算措置をいただきますよう改めてお願いをする次第でございます。

仰っておられますように、訪日外国人が過去最高になる中で、大阪の玄関口であるミナミの重要性がますます高まっております。

行政や警察のお力添えが不可欠でございますので、改めてご指導ご鞭撻のほどお願いを申し上げます。

最後になりますが、大阪商工会議所は今後とも地元の皆様とともにミナミの発展に寄与してまいります。

引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

○ 関西経済同友会代表幹事

まず初めに、ミナミの浄化や活性化に向けて、日々ご尽力いただいている関係の皆様、心から感謝を申し上げます。

私ども関西経済同友会は、この協議会が発足した同じ年に、「美しい大阪づくり委員会」の取り組みとして『大阪・ミナミの浄化と活性化に向けて』と題した提言を発出し、「ミナミの再生なくして大阪の再生はない」と発信しました。

それから20年が経過しましたが、ご関係の皆様、また地域の人々の努力、献身的な活動により、大阪ミナミは、美化が進み、多くの人が行きかい、現在のような活気あふれる街へと変化してきました。

皆様の継続的な取り組みに対して、心より敬意を表したいと思っております。

皆様ご承知の通り、70日後には、大阪・関西万博が開幕いたします。

会場となる夢洲では着々と準備が進んでおります。

多くのパビリオンの外観が完成し、それぞれの内容についても明らかになってきており、大阪・関西万博に期待を膨らませる方が日々増えております。

この会期中は、日本国内はもちろん、海外からも多くの方が、大阪の地にお越しになることとなります。

ここミナミは、関西国際空港から日本にいられた外国人旅行客を最初に迎える玄関口となるでしょう。

これまで以上に、多くの方々が来られることが期待されます。

ミナミには、関西の経済や文化の発展に寄与してこられた長い歴史のある、多くの商店街があります。

関係の皆様には、大阪・関西万博を新たなビジネスチャンスとして活用いただき、万博開催期間中に来場される多くの方々と新しいご縁を作り、つなぐことにより、これまで以上に、大阪、そしてミナミのまちを盛り上げていただきたいと思います。

大阪ミナミを訪れた方々に、「また来たい」と思っていたくには、安心安全なまちであることは、不可欠であります。

私達一人一人が意識を持って協力し合うことでより安心で安全な地域社会を築いていけると信じています。

犯罪の予防や、地域住民の安心感を高めるため、関係各所の皆様には、今後も一層の取り組みに尽力いただきたく、何卒よろしく願いいたします。

既に先行オープンしている「なんば広場」ですが、以前はタクシー乗り場や信号で雑多な印象がありました。

現在は、「人」のための広場として生まれ変わり、「人」を惹きつける場所になってきました。

大阪の文化や活気を感じることができる場所でもあり、観光客にとっても、また、我々地元の人々にとっても、大変重要なスポットに変わってきたと思います。

昨年のクリスマスには、広場中央部に約4メートルの巨大プレゼントボックスが出現するなど、趣向を凝らしたイベントで、多くの方々が訪れ、賑わったミナミを見、嬉しい気持ちがある一方で、大阪生まれ、大阪育ちの私としましては、「大阪らしさ」というものを無くさないでほしいと思っています。

昨今、中央を含めて再開発が行われていく中で、各地のカラーが失われ、東京のミニ版のようなものがあちこちに出てきておりますが、大阪は、やはり「独自色」がある地域であります。

「食いだおれの街」として、たこ焼き、お好み焼き、串カツなど、ストリートフードが豊富にあり、人々は、人情と大らかさを持ち合わせています。

また、お笑いの文化もあり、エンターテインメントも豊富で、アメリカ村などショッピングエリアも充実しております。

賑やかでカラフル、ごちゃごちゃしているようで、その中に何か「新しいもの」が生み出されてくるような、ワクワク感があるのが、大阪の雰囲気だと思います。「活力」と言ってもいいかもしれません。

華やかで洗練された街もよいのですが、東京などとは違った、温かみのある、親しみやすい、エネルギーに満ち溢れた、大阪らしい街として、ミナミが成長し続けてほしいと願っております。

日本に来られる外国人にとっても、この独自色がある大阪というものが最大の魅力として映るのではないのでしょうか。

大阪・関西万博は大阪ミナミの良さをアピールする絶好の機会となります。

私ども関西経済同友会も皆様方と協働させていただきながら、大阪ミナミをさらに魅力のある世界で誇れるまちにすることを目指し、尽力してまいります。

ミナミの更なる発展のために、共に考え行動していきたいと思っております。

○ ミナミ環境浄化推進協議会発起人

平素は、ミナミの歓楽街環境浄化、地域の活性化のため、皆様には活発に活動していただいております、深く感謝申し上げます。

特に、客引きの問題については、大阪市と大阪府警が中心となって取締りや合同パトロールを行っていただいております、また、大阪市では今年4月から繁華街対策員の運用が始まり、大阪府警察ではホストクラブ経営者を集めて説明会を開くなど、新たな取組みも行っていただいているおかげで、年々改善していると感じております。

その他、暴力団や「匿名・流動型犯罪グループ」の取締りを強化していただき地元として、心強く感じており、大変感謝しております。

引き続き、環境浄化に向けた取組、取締りの強化をお願いします。

ここで改めて、私から要望があります。

先ほどお話したとおり、繁華街対策員の運用開始など、客引き対策の体制は強化されておりますが、悪質な客引き行為者は取締りを受けても、しばらくすれば再び客引き行為をするなど、未だに多数の客引きがミナミに存在しております。

私は兼ねてより、ミナミの街を「世界一安全・安心なまち」にして、世界の「モデル地区」にしたいと考えております。

そのためには悪質・巧妙化する客引きの排除に向けて、更なる対策が必要であると考えております。

そこで、悪質な客引き行為を排除するため、大阪市の客引き指導員の増員や更なる効果的な運用、そして、大阪市と大阪府警察を中心とした更なる取締りの強化などを検討していただきたいのです。

このような対策をすることで、ミナミを「客引きを行わせないまち」にし、皆さんが安心して楽しめる安全なミナミになると、私は強く感じています。

いよいよ4月からは万博が開幕し、世界中の人が大阪に集まってきます。

当然ミナミも注目され、多くの方々が訪れることとなります。

ミナミを訪れた人が、「ミナミに来てよかった」「もう一度行きたい」と思ってもらえるような、安心して訪問し、安全に楽しめるまちにしたい。

そのために、今後も「みんなで作ろう ええ街ミナミ」を合言葉に、行政、警察、各団体と連携を密にし、頑張っていきたいと思っております。

5 共同アピールの採択

意見交換後、出席者全員一致で「第20回ミナミ活性化協議会代表者会議共同アピール」を採択した。

6 啓発イベント等

代表者会議終了後、同所において啓発イベントを行い、大阪府警察音楽隊の演奏の後、決意表明（シュプレヒコール）を実施した。

第20回 ミナミ活性化協議会代表者会議 共同アピール

われわれ、ミナミ活性化協議会は、平成17年の設立から、地元・行政・経済界が連携したオール大阪体制を確立し、大阪ミナミの環境浄化と美化を推進するとともに、健全で魅力あふれるまちづくりを進めるなど、安全で誰もが安心して楽しむことができるミナミの実現に向けて 様々な対策を推進してきた。

その結果、ミナミは、大阪だけでなく日本の玄関口として、国内外から多数の観光客が訪れる、まさに世界を惹きつける魅力あふれるまちとなった。

これはミナミのまちづくりに携わる多くの人たちが、伝統・文化・環境を守りつつ、社会経済情勢にも対応して、まちの安全・安心の維持向上、魅力の創出と、その発信にたゆみなく取り組んできた賜物である。

いよいよ今年は、大阪・関西万博が開催され、大阪が世界の脚光を浴びる絶好の機会であり、国内外から多くの人々が訪れることから更なるミナミの活性化を図り、世界に誇れる安全・安心かつ明るく楽しい活気あるミナミの街を一層実現させていくことで、ミナミを訪れる全ての人々が「ミナミに来てよかった」と思えるよう、「みんなでつくろう ええ街ミナミ」を合言葉に、総意・総力で次の2点を目標に掲げて、より一層取組を推進することとした。

(1) 『安全・安心かつ明るく楽しく人気ある快適なまちの実現に向けて』

悪質・巧妙化する客引きの指導・取締り及び排除活動を強化するとともに、客引きを利用させないための来訪者への広報啓発、違法店舗の排除や客引きを活用する店舗の根絶など、風俗環境の健全化に向けた対策を推進する。また、駐輪場利用を促進させるための啓発や、民間委託による夜間撤去の強化など、放置自転車対策を推進するとともに、各種犯罪対策を継続するなど、まちの環境浄化に根底から取り組み、安全・安心かつ明るく快適に楽しめる人気の高いまちづくりを推進する。

一、 『魅力とにぎわいのあふれるまちの実現に向けて』

大阪・関西万博の開催に際し、人情味とおもてなしの心にあふれ、食や文化が融合するミナミの魅力に誇りをもち、地元へ愛され、更には世界から注目され続ける持続可能な観光地作りとおもてなしを充実させるとともに、ミナミの新たなシンボルとして、「なんば広場」「御堂筋の歩行者空間」を活用し、人中心の居心地よく安心感にあふれた回遊エリアをつくり上げ、地元・行政・経済界が一体となって、世界を惹きつける魅力とにぎわいあふれるまちづくりを推進する。

令和7年2月3日

【ミナミ活性化協議会】

大阪府知事	吉 村 洋 文
大阪市長	横 山 英 幸
大阪府警察本部長	岩 下 剛
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長	岡 本 敏 嗣
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人	福 長 徳 治
大阪商工会議所会頭	鳥 井 信 吾
一般社団法人関西経済同友会代表幹事	宮 部 義 幸

～賛同団体～

ミナミまち育てネットワーク
公益社団法人関西経済連合会
公益財団法人大阪観光局